

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人明治大学

(2) 大学名

明治大学大学院

(3) 大学の位置

【中野キャンパス】〒164-8525

東京都中野区中野4-21-1

(〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台1-1)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ヤナギヤ タカシ) 柳谷 孝 (平成28年5月10日)		
学長	(ツチヤ ケイイチロウ) 土屋 恵一郎 (平成28年4月1日)		
大学院長	(サカモト ツネオ) 坂本 恒夫 (平成28年4月1日)	(イシカワ マサト) 石川 幹人 (平成30年4月1日)	大学院長交代 (30)
研究科長	(アラカワ カオル) 荒川 薫 (平成29年4月1日)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)

平成30年度に報告する内容 → (30)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成28年度開設の博士後期課程の場合(平成30年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称等

調査対象研究科等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画			備考
		修業年限	入学定員	収容定員	
先端数理科学研究科 先端メディアサイエンス専攻 (博士前期課程) 修士(理学・工学・数理科学)	理学関係 工学関係	2年	45人	90人	基礎となる学部等 総合数理学部 先端メディアサイエンス学科

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人	人	-	45	-	45	-	-	1.05倍	
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)		
	[-]	[-]	[8]	[-]	[4]	[-]	[-]	[-]		
志願者数	-	-	75	-	40	-	-	-		
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)		
	[-]	[-]	[8]	[-]	[4]	[-]	[-]	[-]		
受験者数	-	-	73	-	40	-	-	-		
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)		
	[-]	[-]	[8]	[-]	[4]	[-]	[-]	[-]		
合格者数	-	-	65	-	35	-	-	-		
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)		
	[-]	[-]	[2]	[-]	[1]	[-]	[-]	[-]		
B 入学者数	-	-	61	-	34	-	-	-		
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)		
	[-]	[-]	[2]	[-]	[1]	[-]	[-]	[-]		
入学定員超過率 B/A			1.35		0.75					

- (注) ・ 数字は, 平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 社会人の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については, 認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

報告年度 学 年	平成28年度		平成29年度		平成30年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	- [-] (-)	- [-] (-)	61 [2] (-)	- [-] (-)	34 [1] (-)	- [-] (-)	
2年次	/		- [-] (-)	- [-] (-)	61 [2] (-)	- [-] (-)	
3年次			/		- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)
計	- [-] (-)	61 [2] (-)			95 [3] (-)		

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、**留年者の状況**について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成27年度	— 人	— 人	平成27年度	— 人	— 人	
平成28年度	— 人	— 人	平成27年度	— 人	— 人	
			平成28年度	— 人	— 人	
平成29年度	61 人	0 人	平成27年度	— 人	— 人	
			平成28年度	— 人	— 人	
			平成29年度	0 人	0 人	
平成30年度	95 人	0 人	平成27年度	— 人	— 人	
			平成28年度	— 人	— 人	
			平成29年度	0 人	0 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
合計	156 人	0 人				

(注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{—}{—} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{—}{—} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{61} = \boxed{0} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{95} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<先端数理科学研究科 先端メディアサイエンス専攻（博士前期課程）>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
主要科目	先端メディアサイエンス研究Ⅰ	1前	2			7	7	1				
	先端メディアサイエンス研究Ⅱ	1後	2			7	7	1				
	先端メディアサイエンス研究Ⅲ	2前	4			7	7	1				
	先端メディアサイエンス研究Ⅳ	2後	4			7	7	1				
	先端メディアコロキウム	1前	2			7	8	1				
特修科目	パターン認識と機械学習特論	1・2後	2			1						
	感性情報学特論	1・2後	2			1						
	コンピューティングボロジール特論A	1・2後	2			1						
	コンピューティングボロジール特論B	1・2前	2				1					
	コンピューティングボロジール特論C	1・2後	2			1						
	コンピューティングボロジール特論D	1・2前	2				1					
	コンピュータグラフィックス特論	1・2前	2					1				
	情報セキュリティ特論	1・2前	2			1						
	コミュニケーションメディア特論	1・2前	2			1						
	認知心理学特論	1・2前	2				1					
	ユビキタスコンピューティング特論	1・2前	2				1					
	インターネット工学特論	1・2後	2			1						
	音声信号処理特論	1・2後	2			1						
	音楽情報処理特論	1・2後	2			1						
	先端画像処理特論	1・2後	2			1						
	情報検索特論	1・2後	2					1				
	計測制御特論	1・2前	2					1				
	インタラクティブメディア特論	1・2後	2				1					
ヒューマンコンピュータインタラクション特論	1・2前	2			1	1						
デモンストレーション戦略特論	1・2後	2				1						
デジタルファブリケーション特論	1・2前	2				1						
共通総合科目	先端数理科学研究総合講義A	1・2前			2							8
	先端数理科学研究総合講義B	1・2後			2							8
	Advanced Writing Skills for Graduate Study in Mathematics	1・2後			2		1					

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
主要科目	先端メディアサイエンス研究Ⅰ	1前	2			12	3	0				
	先端メディアサイエンス研究Ⅱ	1後	2			12	3	0				
	先端メディアサイエンス研究Ⅲ	2前	4			12	3	0				
	先端メディアサイエンス研究Ⅳ	2後	4			12	3	0				
	先端メディアコロキウム	1前	2			12	4	0				
特修科目	パターン認識と機械学習特論	1・2後	2			1						
	感性情報学特論	1・2後	2			1						
	コンピューティングボロジール特論A	1・2後	2			1						
	コンピューティングボロジール特論B	1・2前	2			1	0					
	コンピューティングボロジール特論C	1・2後	2			1						
	コンピューティングボロジール特論D	1・2前	2			1	0					
	コンピュータグラフィックス特論	1・2前	2					1	0			
	情報セキュリティ特論	1・2前	2			1						
	コミュニケーションメディア特論	1・2前	2			1						
	認知心理学特論	1・2前	2			1	0					
	ユビキタスコンピューティング特論	1・2前	2			1	0					
	インターネット工学特論	1・2後	2			2	0					
	音声信号処理特論	1・2後	2			1						
	音楽情報処理特論	1・2後	2			1						
	先端画像処理特論	1・2後	2			1						
	情報検索特論	1・2後	2			1	0					
	計測制御特論	1・2前	2					1				
	インタラクティブメディア特論	1・2後	2			1	0					
ヒューマンコンピュータインタラクション特論	1・2前	2			1	1						
デモンストレーション戦略特論	1・2後	2				1						
デジタルファブリケーション特論	1・2前	2				1						
共通総合科目	先端数理科学研究総合講義A	1・2前			2							8
	先端数理科学研究総合講義B	1・2後			2							8
	Advanced Writing Skills for Graduate Study in Mathematics	1・2後			2		1					

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
主要科目	先端メディアサイエンス研究Ⅰ	1前	2			7	7	1				
	先端メディアサイエンス研究Ⅱ	1後	2			7	7	1				
	先端メディアサイエンス研究Ⅲ	2前	4			7	7	1				
	先端メディアサイエンス研究Ⅳ	2後	4			7	7	1				
	先端メディアコロキウム	1前	2			7	8	1				
特修科目	パターン認識と機械学習特論	1-2後		2		1						
	感性情報学特論	1-2後		2		1						
	コンピューティング・ボロジ-特論A	1-2後		2		1						
	コンピューティング・ボロジ-特論B	1-2前		2			1					
	コンピューティング・ボロジ-特論C	1-2後		2		1						
	コンピューティング・ボロジ-特論D	1-2前		2			1					
	コンピュータグラフィックス特論	1-2前		2				1				
	情報セキュリティ特論	1-2前		2		1						
	コミュニケーションメディア特論	1-2前		2		1						
	認知心理学特論	1-2前		2			1					
	ユビキタスコンピューティング特論	1-2前		2			1					
	インターネット工学特論	1-2後		2		1	1					
	音声信号処理特論	1-2後		2		1						
	音楽情報処理特論	1-2後		2		1						
	先端画像処理特論	1-2後		2		1						
	情報検索特論	1-2後		2			1					
	計測制御特論	1-2前		2			1					
	インタラクティブメディア特論	1-2後		2			1					
ヒューマンコンピュータインタラクション特論	1-2前		2		1	1						
デモンストレーション戦略特論	1-2後		2			1						
デジタルアプリケーション特論	1-2前		2			1						
共通総合科目	先端数理科学研究総合講義A	1-2前			2							8
	先端数理科学研究総合講義B	1-2前			2							8
	Advanced Writing Skills for Graduate Study in Mathematics	1-2後			2		1					

- (注) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。
 その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。
 ・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。
 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。
 (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成29年度】

- ・カリキュラム充実のため、「インターネット工学特論」の専任教員等の配置を「教授1」から「教授1、准教授1」とし、開講形式をオムニバス形式に変更。
- ・カリキュラム都合により、「デジタルファブリケーション特論」の開講形式を「集中」から「通常」に変更。
- ・カリキュラム都合により、「先端数理科学研究総合講義B」の配当年次を「1・2後」から「1・2前」に変更。

【平成30年度】

- ・昇格の理由により、「先端メディアサイエンス研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ」の専任教員等の配置を「教授7、准教授7、講師1」から「教授12、准教授3、講師0」に変更。
- ・昇格の理由により、「先端メディアコロキウム」の専任教員等の配置を「教授7、准教授8、講師1」から「教授12、准教授4、講師0」に変更。
- ・昇格の理由により、「コンピューティングトポロジー特論B・D」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1、准教授0」に変更。
- ・昇格の理由により、「コンピュータグラフィックス特論」の専任教員等の配置を「講師1」から「准教授1、講師0」に変更。
- ・昇格の理由により、「認知心理学特論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1、准教授0」に変更。
- ・昇格の理由により、「ユビキタスコンピューティング特論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1、准教授0」に変更。
- ・昇格の理由により、「インターネット工学特論」の専任教員等の配置を「教授1、准教授1」（平成29年度変更）から「教授2、准教授0」に変更。
- ・昇格の理由により、「情報検索特論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1、准教授0」に変更。
- ・昇格の理由により、「インタラクティブメディア特論」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1、准教授0」に変更。

- (注) ・ 変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
- ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
5 科目	21 科目	3 科目	29 科目	5 科目 [-]	21 科目 [-]	3 科目 [-]	29 科目 [-]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

特になし。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{29} = \boxed{}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計			
	校舎敷地	255,985 m ²	0 m ²	0 m ²	255,985 m ²	大学全体		
	運動場用地	164,625 369,974 242,724 m ²	0 m ²	0 m ²	164,625 369,974 242,724 m ²	その他には農場、寄宿舎、借用地、附属学校施設を含む。		
	小 計	420,610 625,959 498,709 m ²	0 m ²	0 m ²	420,610 625,959 498,709 m ²			
	そ の 他	433,685 548,725 700,753 m ²	0 m ²	0 m ²	433,685 548,725 700,753 m ²	区分変更のため (29)		
	合 計	854,295 1,174,684 1,199,462 m ²	0 m ²	0 m ²	854,295 1,174,684 1,199,462 m ²	農場売却のため (30)		
(2) 校舎	専 用	323,489 319,203 m ²	0 m ²	0 m ²	323,489 319,203 m ²	大学全体		
	(323,489 m ²)	(0 m ²)	(0 m ²)	(0 m ²)	(323,489 m ²)	改修のため (29)		
(3) 教室等	講義室	287 282 室	228 209 室	461-451 450 室	29 30室 補助職員 38 39 人	語学学習施設 15 16 22-室 (補助職員 20 24 人)		
	情報処理学習施設					大学全体 改修のため (29) 施設縮小に伴い減員 (29) 改修のため (30) 施設縮小に伴い減員 (30)		
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
	先端数理科学研究科 先端メディアサイエンス専攻			16 室				
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機械・器具	標 本	大学共有分図書数 2,682,764 [919,668] 学術雑誌数 38,330 [13,308] 電子ジャーナル数 14,044 [14,031] 視聴覚資料は大学全体
		[うち外国書]	[うち外国書]	電子ジャーナル				
	冊	種	[うち外国書]	点	点	点		
	先端数理科学研究科 先端メディアサイエンス専攻	43,230 [8,404] (43,230 [8,404])	140,57 [13,990] (140,57 [13,990])	13,979 [13,968] (13,979 [13,968])	35,889 (35,889)	5,703 (5,703)	0 (0)	
計	43,230 [8,404] (43,230 [8,404])	140,57 [13,990] (140,57 [13,990])	13,979 [13,968] (13,979 [13,968])	35,889 (35,889)	5,703 (5,703)	0 (0)		
(6) 図書館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体 保存書庫を含む 改修のため (29) 改修のため (30)	
	28,705m ²		3,437 3,423 3,440 席		2,744,566冊			
(7) 体育館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				体育館には駿河台スナール、中野多目的ホールを含む 改修のため (29)	
	15,752 15,622-42 m ²		バレーコート、テニスコート、ゴルフ練習場、プール等					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当たり研究費等	3,909千円	3,930千円	図書購入費	649千円	2,858千円	2,897千円
	共同研究費等	8,111千円	8,175千円	設備購入費	12,724千円	54,482千円	53,706千円	
	学生1人当たり納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		1,120千円	920千円	一千円	一千円	一千円	一千円	
学生納付金以外の維持方法の概要		補助金、資産運用の果実及び寄付金その他収入をもって維持運営する。						

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成29年4月)	届出のため該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (30年2月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年2月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年2月)			

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、当該大学に付された意見を全て記入するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<先端数理科学研究科 先端メディアサイエンス専攻（博士前期課程）>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
	設置計画変更該当する事項なし

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

全学的な教育支援体制に係る諸施策の立案及びその推進を通じて、組織的かつ継続的に教育内容及び教育技法の改善を行うことにより、効果的な教育活動の実践を支援・促進することを目的として明治大学教育開発・支援センターを設置している。

また、大学院においては、各研究科長を構成員とする大学院教育改革推進委員会を設置している。

さらに、本研究科では、先端数理科学研究科委員会において教育貢献及び授業改善に関する事項を協議・検討している。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

先端数理科学研究科委員会は月に1回程度実施されている。委員会メンバーは研究科担当教員により構成されており、毎回ほぼ全教員が出席している。

c 委員会の審議事項等

- ・研究指導方法に関すること
- ・FD活動全般に関すること

② 実施状況

a 実施内容

大学院委員会主催による新任教員のための研修会（大学院教育懇談会）への参加

b 実施方法

特任、客員教員及び兼任講師に加え、本大学院を初めて担当する専任教員の出席により、本大学院の教育理念・人材養成その他の教育研究上の目的等を再確認し、情報交換等を行う。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

平成30年4月14日 駿河台キャンパス・グローバルフロント3階4031教室にて実施。
「大学院生の指導について（学生相談室の視点から）」と「大学における研究・研究と著作権」についての講演があり、当研究科からは2名の専任教員が出席した。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

講演内容等について研究科委員会での報告を行い、共有を図る。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

修了予定者を対象に授業運営及び教育・研究環境改善を目的とした授業実施状況に係るアンケート調査の実施を予定している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

アンケート結果は、研究科執行部に報告を行い、情報を共有する予定である。

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

<p>① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見</p> <p>先端数理科学研究科は、これまで明治大学において培われてきた数理科学教育、情報科学教育の経験と実績を根底にして、「社会に貢献する数理科学の創造、展開及び発信」という共通の理念の下、2つの専攻を同時に開設した。</p> <p>先端メディアサイエンス専攻 博士前期課程では、数理科学的なアプローチでの先端メディア技術を実現するとともに、人に満足感や面白さ等の精神的豊かさを与えて、社会文化の発展に寄与し、人の心を動かす新しい情報学の研究教育拠点を目指している。</p> <p>平成30年度が完成年度となっているが、多くの入学者を集め、設置の趣旨・目的に沿った教育活動・研究活動が実現されている。各研究分野における大学院生の学会活動も国内外で活発に行われているほか、報道メディアや企業からも注目を集めており、当専攻の設置の趣旨及び目的が既に社会に受容・理解・共感されつつあると評価できる。</p> <p>設置の趣旨及び目的の達成状況の客観的評価は完成年度を以ってなされるものとも考えるが、今後も継続してこの趣旨を社会に標榜し、設置計画に基づいた教育研究活動を通じて有為な人材の育成を目指すとともに、その基盤を確かなものとしたい。</p>
<p>② 自己点検・評価報告書</p> <p>a 公表（予定）時期</p> <p>・平成31年3月下旬 公表予定</p> <p>b 公表方法</p> <p>・大学ホームページ上に公開予定（平成31年3月末を予定） http://www.meiji.ac.jp/koho/about/hyouka/self/index.html</p>
<p>③ 認証評価を受ける計画</p> <p>・平成26年度に評価機関（大学基準協会）の評価を受け、平成27年3月に適合の認定を受けた。 http://www.juaa.or.jp/search/detail.php?id=336&page=1#result1</p>

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

<p>○ 設置計画履行状況報告書</p> <p>a ホームページに公表（予定）の有無 (<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無)</p> <p>b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (平成30年 7月頃公表予定)</p>
--

(注) ・ 「a ホームページに公表（予定）有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。
・ 「b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期」には、「a ホームページに公表（予定）有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人明治大学

(2) 大学名

明治大学大学院

(3) 大学の位置

【中野キャンパス】〒164-8525
東京都中野区中野4-21-1
(〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台1-1)

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ヤナギヤ タカシ) 柳谷 孝 (平成28年5月10日)		
学長	(ツチヤ ケイイチロウ) 土屋 恵一郎 (平成28年4月1日)		
大学院長	(サカモト ツネオ) 坂本 恒夫 (平成28年4月1日)	(イシカワ マサト) 石川 幹人 (平成30年4月1日)	大学院長交代 (30)
研究科長	(アラカワ カオル) 荒川 薫 (平成29年4月1日)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)

平成30年度に報告する内容 → (30)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成28年度開設の博士後期課程の場合(平成30年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称等

調査対象研究科等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画			備考
		修業年限	入学定員	収容定員	
先端数理科学研究科 先端メディアサイエンス専攻 (博士後期課程) 博士(理学・工学・数理科学)	理学関係 工学関係	3年	6人	18人	基礎となる学部等 総合数理学部 先端メディアサイエンス学科

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度		平成28年度		平成29年度		平成30年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	人	人	-	6	-	6	-	-	0.25倍	
	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)		
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]		
志願者数	-	-	3	-	0	-	-	-		
	(-)	(-)	(1)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)		
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]		
受験者数	-	-	3	-	0	-	-	-		
	(-)	(-)	(1)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)		
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]		
合格者数	-	-	3	-	0	-	-	-		
	(-)	(-)	(1)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)		
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]		
B 入学者数	-	-	3	-	0	-	-	-		
	(-)	(-)	(1)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)		
	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]	[-]		
入学定員超過率 B/A			0.50		0.00					

- (注) ・ 数字は, 平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ () 内には, 社会人の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については, 認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ [] 内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

報告年度 学 年	平成28年度		平成29年度		平成30年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	- [-] (-)	- [-] (-)	3 [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	- [-] (-)	(平成29年度) 本学理工学研究科から2年次に1名、3年次に2名の転入学者(転研究科者)あり。
2年次	/		1 [-] (-)	- [-] (-)	3 [-] (-)	- [-] (-)	
3年次	/		2 [-] (-)	- [-] (-)	1 [-] (-)	- [-] (-)	
計	- [-] (-)	- [-] (-)	6 [-] (-)	- [-] (-)	4 [-] (-)	- [-] (-)	

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、**留年者の状況**について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成27年度	— 人	— 人	平成27年度	— 人	— 人	
平成28年度	— 人	— 人	平成27年度	— 人	— 人	
			平成28年度	— 人	— 人	
平成29年度	6 人	0 人	平成27年度	— 人	— 人	
			平成28年度	— 人	— 人	
			平成29年度	0 人	0 人	
平成30年度	4 人	0 人	平成27年度	— 人	— 人	
			平成28年度	— 人	— 人	
			平成29年度	0 人	0 人	
			平成30年度	0 人	0 人	
合計	10 人	0 人				

(注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成27年度】

$$\frac{\text{平成27年度の退学者数(a)}}{\text{平成27年度の在学者数(b)}} = \frac{—}{—} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【平成28年度】

$$\frac{\text{平成28年度の退学者数(a)}}{\text{平成28年度の在学者数(b)}} = \frac{—}{—} = \boxed{\#VALUE!} \%$$

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{6} = \boxed{0} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{4} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<先端数理科学研究科 先端メディアサイエンス専攻（博士後期課程）>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
(発展研究科目)	先端メディアサイエンス発展研究Ⅰ	1前	2			7	5					
	先端メディアサイエンス発展研究Ⅱ	1後	2			7	5					
	先端メディアサイエンス発展研究Ⅲ	2前	2			7	5					
	先端メディアサイエンス発展研究Ⅳ	2後	2			7	5					
	先端メディアサイエンス発展研究Ⅴ	3前	2			7	5					
	先端メディアサイエンス発展研究Ⅵ	3後	2			7	5					
先端数理科学	先端数理科学発展講義A	1・2・3前	2			1						
	先端数理科学発展講義B	1・2・3後	2			1						

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
(発展研究科目)	先端メディアサイエンス発展研究Ⅰ	1前	2			12	0					
	先端メディアサイエンス発展研究Ⅱ	1後	2			12	0					
	先端メディアサイエンス発展研究Ⅲ	2前	2			12	0					
	先端メディアサイエンス発展研究Ⅳ	2後	2			12	0					
	先端メディアサイエンス発展研究Ⅴ	3前	2			12	0					
	先端メディアサイエンス発展研究Ⅵ	3後	2			12	0					
先端数理科学	先端数理科学発展講義A(未開講)	1・2・3前	2			0						2
	先端数理科学発展講義B(未開講)	1・2・3後	2			1						

【平成29年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
(発展研究科目)	先端メディアサイエンス発展研究Ⅰ	1前	2			7	5					
	先端メディアサイエンス発展研究Ⅱ	1後	2			7	5					
	先端メディアサイエンス発展研究Ⅲ	2前	2			7	5					
	先端メディアサイエンス発展研究Ⅳ	2後	2			7	5					
	先端メディアサイエンス発展研究Ⅴ	3前	2			7	5					
	先端メディアサイエンス発展研究Ⅵ	3後	2			7	5					
先端数理科学	先端数理科学発展講義A	1・2・3前	2			0						2
	先端数理科学発展講義B(未開講)	1・2・3後	2			1						

- (注) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。
 その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。
 ・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。
 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。
 (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ② 授業科目表に関する変更内容

【平成29年度】

・ 履修学生の専門分野と適合させるため、「先端数理科学発展講義A」の配置を「教授2」から「教授0」及び「兼任0」から「兼任2」に変更。

【平成30年度】

・ 昇格の理由により、「先端メディアサイエンス発展研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ・Ⅵ」の専任教員等の配置を「教授7、准教授5」から「教授12、准教授0」に変更。

- (注) ・ 変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を簡条書きで記入してください。
 変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
0 科目	8 科目	0 科目	8 科目	0 科目	8 科目	0 科目	8 科目	
				[-]	[-]	[-]	[-]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: △1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	先端数理科学発展講義A	2	1.2.3前	専門	選択	平成30年度の在籍者数が少ないことから予め未開講とした。
2	先端数理科学発展講義B	2	1.2.3後	専門	選択	同上
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

学生には、新年度ガイダンスで周知し、在籍者にはその前提で履修計画を立ててもらっているため、学生側の不利益は生じないと考えている。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目 (3) と廃止科目 (4) の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計 (A)}} = \frac{2}{8} = \boxed{25} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計			
	校舎敷地	255,985 m ²	0 m ²	0 m ²	255,985 m ²	大学全体		
	運動場用地	164,625 369,974 242,724 m ²	0 m ²	0 m ²	164,625 369,974 242,724 m ²	その他には農場、寄宿舎、借用地、附属学校施設を含む。		
	小 計	420,610 625,959 498,709 m ²	0 m ²	0 m ²	420,610 625,959 498,709 m ²			
	そ の 他	433,685 548,725 700,753 m ²	0 m ²	0 m ²	433,685 548,725 700,753 m ²	区分変更のため (29)		
	合 計	854,295 1,174,684 1,199,462 m ²	0 m ²	0 m ²	854,295 1,174,684 1,199,462 m ²	農場売却のため (30)		
(2) 校舎	専 用	323,489 319,203 m ²	0 m ²	0 m ²	323,489 319,203 m ²	大学全体		
	(323,489 m ²)	(0 m ²)	(0 m ²)	(323,489 m ²)		改修のため (29)		
(3) 教室等	講義室	287 282 室	228 209 室	461-451 450 室	29 30室 補助職員 38 39 人	29 15 16 22-室 (補助職員 20 24 人)	大学全体 改修のため (29) 施設縮小に伴い減員 (29)	
							改修のため (30) 施設縮小に伴い減員 (30)	
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
	先端数理科学研究科 先端メディアサイエンス専攻			12 室				
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機械・器具	標 本	大学共有分図書数 2,682,764 [919,668] 学術雑誌数 38,330 [13,308] 電子ジャーナル数 14,044 [14,031] 視聴覚資料は大学全体
		[うち外国書]	[うち外国書]	電子ジャーナル				
	冊	種	[うち外国書]	点	点	点		
	先端数理科学研究科 先端メディアサイエンス専攻	46,895 [8,804] (43,230 [8,404])	140,57 [13,990] (140,57 [13,990])	13,979 [13,968] (13,979 [13,968])	35,889 (35,889)	5,703 (5,703)	0 (0)	
計	46,895 [8,804] (43,230 [8,404])	140,57 [13,990] (140,57 [13,990])	13,979 [13,968] (13,979 [13,968])	35,889 (35,889)	5,703 (5,703)	0 (0)		
(6) 図書館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体 保存書庫を含む 改修のため (29) 改修のため (30)	
	28,705m ²		3,437 3,423 3,440 席		2,744,566冊			
(7) 体育館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					体育館には駿河台スポーツホール、中野多目的ホールを含む 改修のため (29)
	15,752 15,622-42 m ²		バレーコート、テニスコート、ゴルフ練習場、プール等					
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員 1 人当り研究費等	3,909千円	3,929千円	図書購入費	649千円	2,858千円	2,936千円
	共同研究費等	8,111千円	8,241千円	設備購入費	12,724千円	54,482千円	52,941千円	
	学生 1 人当り納付金	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次	
		1,050千円	850千円	850千円	一千円	一千円	一千円	
学生納付金以外の維持方法の概要		補助金、資産運用の果実及び寄付金その他収入をもって維持運営する。						

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成29年4月)	届出のため該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (30年2月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年2月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年2月)			

(注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。

・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、**当該大学に付された意見を全て記入**するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。

その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。

・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。

・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<先端数理科学研究科 先端メディアサイエンス専攻（博士後期課程）>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
	設置計画変更該当する事項なし

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

全学的な教育支援体制に係る諸施策の立案及びその推進を通じて、組織的かつ継続的に教育内容及び教育技法の改善を行うことにより、効果的な教育活動の実践を支援・促進することを目的として明治大学教育開発・支援センターを設置している。

また、大学院においては、各研究科長を構成員とする大学院教育改革推進委員会を設置している。

さらに、本研究科では、先端数理科学研究科委員会において教育貢献及び授業改善に関する事項を協議・検討している。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

先端数理科学研究科委員会は月に1回程度実施されている。委員会メンバーは研究科担当教員により構成されており、毎回ほぼ全教員が出席している。

c 委員会の審議事項等

- ・研究指導方法に関すること
- ・FD活動全般に関すること

② 実施状況

a 実施内容

大学院委員会主催による新任教員のための研修会（大学院教育懇談会）への参加

b 実施方法

特任、客員教員及び兼任講師に加え、本大学院を初めて担当する専任教員の出席により、本大学院の教育理念・人材養成その他の教育研究上の目的等を再確認し、情報交換等を行う。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

平成30年4月14日 駿河台キャンパス・グローバルフロント3階4031教室にて実施。
「大学院生の指導について（学生相談室の視点から）」と「大学における研究・研究と著作権」についての講演があり、当研究科からは2名の専任教員が出席した。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

講演内容等について研究科委員会での報告を行い、共有を図る。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

修了予定者を対象に授業運営及び教育・研究環境改善を目的とした授業実施状況に係るアンケート調査の実施を予定している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

アンケート結果は、研究科執行部に報告を行い、情報を共有する予定である。

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

先端数理科学研究科は、これまで明治大学において培われてきた数理科学教育、情報科学教育の経験と実績を根拠にして、「社会に貢献する数理科学の創造、展開及び発信」という共通の理念の下、2つの専攻を同時に開設した。

先端メディアサイエンス専攻 博士後期課程では、数理科学的なアプローチでの先端メディア技術を実現するとともに、人に満足感や面白さ等の精神的豊かさを与えて、社会文化の発展に寄与し、人の心を動かす新しい情報学の研究教育拠点を世界的なレベルに押し上げることを使命と考えている。

当専攻では既に、博士を輩出することに成功した。輩出された博士は、既に研究者として高い国際的な知名度を誇る人材となっており、学位取得後も研究教育機関において活躍している。併せて、先端メディアサイエンス専攻 博士後期課程が世界的な研究教育拠点であることの認知も高まっているといえる。このことから、当専攻の設置の趣旨及び目的が社会に受容・理解・共感されたと評価している。

今後も継続してこの趣旨を社会に標榜し、設置計画に基づいた教育研究活動を通じて有為な人材の育成を目指すとともに、その基盤を確かなものとしたい。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・平成31年3月下旬 公表予定

b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開予定（平成31年3月末を予定）

<http://www.meiji.ac.jp/koho/about/hyouka/self/index.html>

③ 認証評価を受ける計画

- ・平成26年度に評価機関（大学基準協会）の評価を受け、平成27年3月に適合の認定を受けた。

<http://www.juaa.or.jp/search/detail.php?id=336&page=1#result1>

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表（予定）の有無

(有 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

(平成30年 7月頃公表予定)

(注) ・ 「a ホームページに公表（予定）有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

・ 「b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期」には、「a ホームページに公表（予定）有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。